自主的環境保全活動の取り組み状況

（事業所名）片倉チッカリン㈱ 姫路工場

1　環境保全活動に関する方針等

１－１　環境保全活動に関する方針

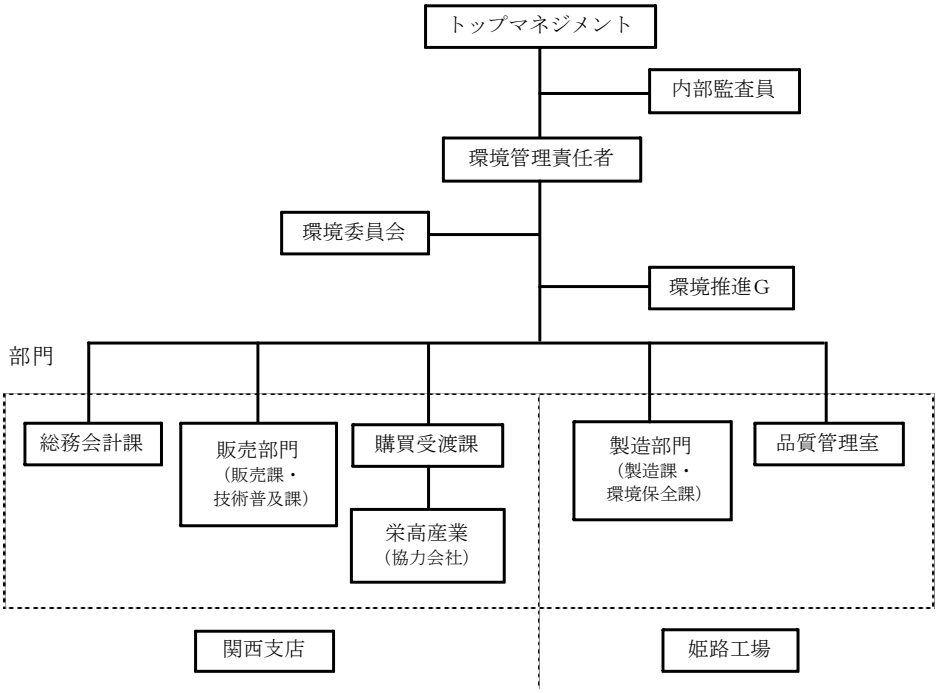
基本理念

当事業所は、地域貢献、環境共生に配慮した販売・生産活動を推進し、環境との調和した活動をおこなう。

環境方針

・豊かな食生活や健康を支える「安全で高品質、おいしい農産物」のニーズに応える有機質肥料にこだわり、農業を通じて環境に貢献する。
・廃棄物の適切な管理と削減、エネルギー軽減、再生資源の利用に努め、環境目的・目標を定め、定期的に見直しを行い継続的改善と汚染の予防に努める。
・環境に関連する法規制および同意するその他の要求事項を順守する。
・環境に関する教育・啓発を行い、全従業員及び協力会社に対し周知する。
・環境管理の維持向上及び、環境マネジメントシステムの継続的見直しをおこなう。
・この環境方針は、必要に応じて公開する。また、環境方針は総務会計課に申し込む事により誰でも入手出来るようにする。

１－２　環境保全活動に関する組織体制



2　環境保全活動の実施状況等

項　目	取組結果	今後の取組計画
廃棄物の適切な管理 〈著しい環境側面〉 （紙くずの削減）	生産量が増加したが、紙袋の一部がフレコンバックに変更になったため発生量は減少した。目標に対して 87%に削減できた。	紙の分別と排出量の削減 2012 年度を基準に 2015 年度までに 3%削減
廃棄物の適切な管理 〈著しい環境側面〉 （ポリの削減）	紙袋の一部がフレコンバックに変更なったことで、発生量が増加した。目標に対して 150%に増加した。	ポリの分別と排出量の削減 2012 年度を基準に 2015 年度までに 3%削減
エネルギーの軽減 （電気使用量）	昼休みの消灯、遊休設備の停止などを行ったが、電気使用量の多い銘柄の生産量増加で電力消費量が増加した。全部門で目標に対して 105%に増加した。	資源の使用量の削減（電気） 電力量×前年度対比 2012 年度を基準に 2015 年度までに 3%削減
エネルギーの軽減 （重油使用量）	製品の水分管理の徹底で無駄な乾燥を抑えたことにより、目標に対して 86%に軽減した。	資源の使用量の削減（燃料） 燃料量×前年度対比 2012 年度を基準に 2015 年度までに 3%削減
燃料の使用 〈著しい環境側面〉 （軽油使用量）	目標に対して 82%に軽減した。	資源の使用量の削減（軽油） 2012 年度を基準に 2015 年度までに 3%削減
紙使用量の削減	両面コピーの徹底、裏紙活用により、目標に対して 88%に削減した。	紙の使用量の削減 2012 年度を基準に 2015 年度まで維持
有機入り製品の営業活動 〈著しい環境側面〉	消費税増税に伴う前取りで、有機入り製品の販売数量が増加し、目標に対して 10%増となった。	有機入り製品の販売量を 2012 年度を基準に 2015 年度までに 1%増加

＊目標達成率は2013年度の評価です。